

2015年6月25日

マッカーサー記念室を期間限定で特別公開（完全予約制）

第一生命保険株式会社（社長：渡邊 光一郎）では、戦後70年という節目の年を迎えることを踏まえ、マッカーサー記念室を一般公開します。マッカーサー記念室の一般公開はGHQによる接収・解除・返還から60年のタイミングであった2012年7月以来、3年ぶりです。

今回の公開は、当日の混乱を避けるため、完全事前予約制とさせていただきます。会場のキャパシティに加え、当時の史料を保存・保護するという観点から、応募者が多数の場合は抽選とさせていただきます。応募方法については別紙1・2をご参照ください。

<マッカーサー記念室 期間限定一般公開>

◆日程：2015年7月29日（水）～8月3日（月）

◆時間：9時～16時30分（※）

※8月1日（土）、2日（日）は18時30分まで



なお、ご来場当日は当社よりお送りする当選通知のお届けをご持参いただくとともに、応募者ご本人であることの確認をさせていただきます。また、安全確保のため、ご来場者の手荷物及び所持物の確認をさせていただきます。

【マッカーサー記念室所在地】

〒100-8411

東京都千代田区有楽町1-13-1

DNタワー21 本館6階

※受付は第一生命本館1階

※当社ホームページ上の「マッカーサー記念室 バーチャルビュー」でも記念室の様子をご覧いただけます。

【本件に関するお問い合わせ窓口】

マッカーサー記念室 特別公開 応募受付事務局

TEL 0120-502-726

受付時間：平日10時～17時 ※土日・祝日を除く

※回線数の関係から電話がかかりにくい場合がございます。



応募期間・応募方法

◆応募期間：2015年6月25日（木）～7月10日（金）当日必着

◆来場可能人数：2,000組（4,000名様）

◆応募方法：郵便はがきに以下の必要事項を記入のうえ、指定の宛先までお申し込みください。

※応募は郵便はがきのみのため、当社ホームページでの応募受付はしていません。

- ①郵便番号、②ご住所、③お名前、④電話番号、⑤性別、⑥年齢、
⑦希望の見学日（第2希望日まで）、⑧希望の時間帯（午前または午後）

見学日	午前の部	午後の部
7月29日（水）	9：00～12：30	13：00～16：30
7月30日（木）	9：00～12：30	13：00～16：30
7月31日（金）	9：00～12：30	13：00～16：30
8月1日（土）	9：00～12：30	13：00～18：30
8月2日（日）	9：00～12：30	13：00～18：30
8月3日（月）	9：00～12：30	13：00～16：30

※8月1日（土）、8月2日（日）のみ午後の部は13：00～18：30となります

※上記時間帯のうち、観覧時間は1組20分までとさせていただきます。

※ご希望の時間帯（午前または午後）の中から、見学時間を指定させていただきます。

※当日の混雑状況により入場にお時間がかかる場合がございます。

<お預かりした個人情報について>

ご応募いただいたお客さまの個人情報は、当選通知の発送・連絡に限り利用させていただきます。お客さまの同意なしに業務委託先以外の第三者に、お預かりした個人情報を開示・提供することはありません（法令等により開示を求められた場合を除きます）。

◆応募はがき宛先

〒104-8691

日本郵便株式会社 晴海郵便局 郵便私書箱74号

「マッカーサー記念室」特別公開 申し込み係

◆当選発表方法

応募者多数の場合、厳正なる抽選の上、当選通知のお届けをもってかえさせていただきます。

※当選通知一通につき1組（2名様）のご招待とさせていただきます。

◆その他、注意事項については当社ホームページをご参照ください。

(URL http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/public/event/public_open.html)

◆応募はがき記入例

【記入例】

郵便はがきの表面

郵便はがき

1 0 4 - 8 6 9 1

52円
切手

日本郵便株式会社 晴海郵便局 郵便私書箱74号
「マッカーサー記念室」特別公開 申し込み係

郵便はがきの裏面

■招待希望日・希望時間帯

第一希望 ○○月○○日(○) 午前 or 午後
第二希望 ○○月○○日(○) 午前 or 午後

※7月29日(水)～8月3日(月)のいずれかの日曜を第二希望日までご記入いただき、「午前」または「午後」のいずれかをお選びください。

■申込者

ダイイチ タロウ
第一 太郎 ○○歳 男

〒000-0000 ○○県○○市○○町○番地

(電話番号) 000-0000-0000

※申込者の郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、性別、年齢をご記入ください。

マッカーサー記念室の歴史

当社の本社ビルである「第一生命館」は、終戦直後の1945年9月にGHQ（連合軍総司令部）に接收されました。「第一生命館」の接收にあたってGHQから出された命令は「72時間以内に立ち退くこと、書類以外は一切の備品の持ち出しは禁止」というものでした。移転先や作業員の確保など移転作業は困難を極めました。締切りの3時間前にGHQに明け渡すことができました。

GHQに接收された「第一生命館」は、現在の日本国憲法の原型であるGHQ草案が作られるなど、戦後の日本をかたちづくるさまざまな舞台となりました。

このとき、マッカーサー元帥の執務室となったのが6階の元社長室です。マッカーサー元帥は大変几帳面で、何事も即断即決するため、引出しのない机を愛用したと言われています。また、大変ヨットが好きで、英国人画家オールドリッジにより描かれたヨットの絵を2枚部屋に飾りました。

当社はこの部屋の当時のたたずまいをそのまま残し、歴史を語りつづける部屋として、机や椅子とともに、当時のまま保存しています。

その後、サンフランシスコ平和条約が発効し、GHQが市ヶ谷に移転した1952年7月7日に、「第一生命館」は6年10ヶ月にわたる接收が解除されて返還されました。



第一生命館を出るマッカーサー元帥（1946年1月1日）



第一生命館の返還受領式
（1952年7月7日）



マッカーサー記念室の床（檜・樺・
桜・黒檀などの寄木細工）



英国人画家オールドリッジの作品「干潮」
（マッカーサー記念室に現存）